

(評価)対象年度	令和 6 年度
編 成 区 分	当初
記 入 日	R5.9.11

振興計画事業シート
事務事業評価【事前】シート

担当課	建 設 課
課長名	畑 下 幸 治
担当者	太 田 博 志

対象事業名(事業番号)	仁田山A・B団地解体事業	(1015)
-------------	--------------	--------

会計の選択	一般会計	ハード・ソフト・維持等の選択※2	ハード
新規・継続事業の選択	新規	政策評価の選択	評価対象(新規)
単独・補助・県営事業の選択※1	単独	総合戦略の選択※3	まち(重点③)
第2次総合計画の位置付け (体系表を確認し選択して下さい)	基本姿勢	1.	安心で魅力ある「定住のしま」
	分 野	1-1.	安心して暮らし続けられるまちづくり
	政 策	1-1-2.	人と自然に優しく質の高い住宅・住環境づくり
	基本施策	1-1-2-②	住民のニーズに対応した公営住宅の充実

事業期間(選択)	単年度事業				継続事業の場合		年度 ~	年度
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
事業費(千円)	60,000							60,000
国 費								
県 費								
起 債	60,000							60,000
そ の 他								
一般財源								
補助金等名※4							補助率	

事業の目的 (誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果をえようとしているのか)	仁田山A団地、B団地、C団地は、昭和53、54年度に簡易耐火(2階建)として建設されたが、経年劣化による老朽化が著しい状態である。各団地1棟ずつであるが、うちA団地・B団地は入居者が全世帯退去したことに加え、奈良尾地区には他の住宅も存在し、本来入居者の入居を阻害しないと考えられるため、早期に用途廃止を行い解体を実施する。
事業の概要※5	◆全体事業計画又は事務フロー 簡易耐火(2階建て)A団地 1棟5戸解体 簡易耐火(2階建て)B団地 1棟5戸解体
	◆当年度事業計画 14節 工事請負費 60,000千円
その他 特記事項	

事業の必要性 (現状における問題点、その要因、今後の課題)	仁田山A団地、B団地は、昭和53、54年度に建設され45年余りが経過し、経年劣化による老朽化が著しい状態である。また、一方では、以前より入居者を新たに募集しないこととしており、その後入居者がいない状況となったことから、早期に解体を実施する。
----------------------------------	--

成果 (活動) 指標	指標 (単位)	事業進捗率 (%)				
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
	目標値	100				
	成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果目標とした。				

2次評価	事業の方向性	● 採択	所管案のとおり	事業のやり方改善	事業規模拡大	
			事業規模縮小	事業統廃合	● その他	
		不採択	企画不十分			
	一部不採択	企画不十分				
	評価理由	住民の安全性を確保していくには必要な事業であるが、事業の実施については財政状況によること。施設の解体については、倒壊等の緊急性が高いものを除き、公共施設総合管理計画に基づき実施していくこと。解体後の土地の活用方法についても検討ください。				

3次評価	住民等の意見	
	町の対応	